

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	地理探究	単位数	4単位	学年・学科・コース	3年・普通科・普通コース（文系）
使用教科書	新詳地理探究（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）		副教材等	2024 新地理要点ノート（啓隆社）	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	地理探究の目標について、学習指導要領では次のように規定しています。 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
世界の諸事象の規則性や傾向性などを系統的に、世界の諸地域の構造や変容などを地誌的に考察した上で、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする学習過程を前提に、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性、地域的特色や課題などを理解している。	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせて、地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力、地理的な課題を把握して、解決に向けて学習したことを基に複数の立場や意見を踏まえて構想できる力を身に付けている。	日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることから、グローバル化が進み、国際理解の必要性が増している現代における重要な資質・能力を身に付けている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	1節 人口 1 世界の人口 2 人口の移動 2節 人口問題 1 世界の人口問題 2 日本の人口問題 3節 村落と都市 1 集落の成り立ち 2 村落の形態と機能 3 都市の成立と形態・機能 4 都市圏拡大と都市の構造	人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みを理解する。 主題を設定し、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。	○			世界各国の人口規模・分布や、先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて理解している。	授業態度 ワークシート 課題 定期考査
				○		村落や都市の立地や発達、形態、変容の傾向や規則性について、多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	村落と都市について、課題を主体的に追究しようとしている。	
			○			世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本の都市の課題と解決するための取り組みについて理解している。	
5	4節 都市・居住問題 1 発展途上国の都市・居住問題 2 先進国の都市・居住問題 3 日本の都市・居住問題 1節 衣食住 1 世界の衣服と食生活 2 住居と衣食住の画一化	①生活文化、民族・宗教などの空間的な規則性、傾向性、民族、領土問題の要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 ②主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。	○			都市が持続的に発展するための課題、日本の都市の課題と解決の取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	授業態度 ワークシート 課題 定期考査
				○		都市・居住問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	
			○			生活文化、民族・宗教などに関わる空間的な規則性、傾向性や民族、領土問題の要因、解決の取り組みについて理解している。	
6	2節 民族・宗教と民族問題 1 世界の民族・言語 2 世界の宗教 3 さまざまな民族問題 4 多文化の共生 3節 国家の領域と領土問題 1 現代世界と国家 2 領土問題 3 日本の領域と領土	①生活文化、民族・宗教や民族、領土問題や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 ②主題を設定し、多面的・多角的に考察する。 ③よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究する。	○			場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、地球的課題の要因や動向を多面的・多角的に考察し、表現している。	授業態度 ワークシート 課題 定期考査
				○		生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	
			○			中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。	
7	1節 中国 1 政治体制と多様な民族 2 食生活と農業・水産業 3 工業化と海外進出 4 経済発展に伴う課題 2節 韓国 1 歴史と生活文化 2 産業の発展と生活の変化	中国の急速な経済発展に伴う地球的課題について考察する。 韓国の自然環境や歴史と生活文化、産業の事象を項目ごとに整理して考察する。	○			中国について、さまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。	授業態度 ワークシート 課題 定期考査
				○		韓国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	
			○				

月	学習項目	学習内容 (ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
8 ・ 9	3節 ASEAN 諸国 1 歴史と文化・民族 2 農業とその変化 3 工業とその発展 4 ASEAN の変化と課題 4節 インド 1 産業の発展 2 人口と農村の変化 3 社会の変化と経済格差	ASEAN 諸国の文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。 インドの産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて考察する。 西アジアと中央アジアの二つの地域を比較し、考察する。	○			古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいる ASEAN 諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。	
	5節 西アジアと中央アジア 1 イスラームの生活文化 2 歴史と乾燥地域の農業 3 豊富な資源を生かして進められる開発			○		西アジアと中央アジアについて、二つの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	西アジアと中央アジアについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	
10	6節 北アフリカとサハラ以南アフリカ 1 多様な文化 2 他地域との結びつき 3 一次産品依存と課題 7節 EU 諸国 1 EU の成立と結びつき 2 多様な農業と政策 3 移り変わる EU の工業 4 EU 拡大の影響と課題	北アフリカとサハラ以南アフリカの二つの地域を比較するとともに一次産品への依存がもたらす地球的課題を考察する。 EU を中心とした政治・経済の統合と民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。	○			まとまりをもっている一方で、大きく異なる点もある北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を理解している。 EU を中心とした政治・経済の統合と民族や産業などの事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 EU 諸国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	
				○			
					○		
11	8節 ロシア 1 ロシアの成立と体制変化 2 体制変化が産業への影響 9節 アメリカ合衆国 1 アメリカ合衆国の発展 2 世界の食料生産の鍵を握るアメリカ合衆国 3 進展する科学技術と産業 4 多民族社会と移民増加	ロシアの国家体制の変化に着目して工業や農業の特徴をとらえ、資源・エネルギーをめぐる地球的課題を考察する。アメリカの地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理しつつ、多民族社会や移民に関する地球的課題を考察する。	○			新しい国づくりを進めているロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて理解している。 アメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 アメリカ合衆国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	授業態度 ワークシート 課題
				○			
					○		
12	10節 ラテンアメリカ 1 ヨーロッパの影響 2 大土地所有制と農業 3 工業化の進展と経済発展 11節 オーストラリアとニュージーランド 1 移民の歴史と多文化社会 2 自然を生かした産業 3 アジア太平洋圏との関係	ヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景と文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて考察する。 オーストラリアとニュージーランドの二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を考察する。	○			ラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて理解している。 オーストラリアとニュージーランドの二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を、多面的・多角的に考察し、表現している。 オーストラリアとニュージーランドについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	
				○			
					○		
1	1節 将来の国土の在り方 1 日本の強みと地理的な課題 2節 持続可能な日本の国土像の探究 1 課題の把握 2 課題の追究 3 課題の解決	日本の強みをより生かせる将来について考え、持続可能な社会を構築していく取り組みを考察する。日本が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会の実現に向けた方策を考察する。	○			日本の将来について考え、持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組めばよいかについて理解している。 日本が持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組めばよいかについて、多面的・多角的に探究し、表現している。 将来の国土の在り方について、課題を主体的に探究しようとしている。	授業態度 ワークシート 課題
				○			
					○		